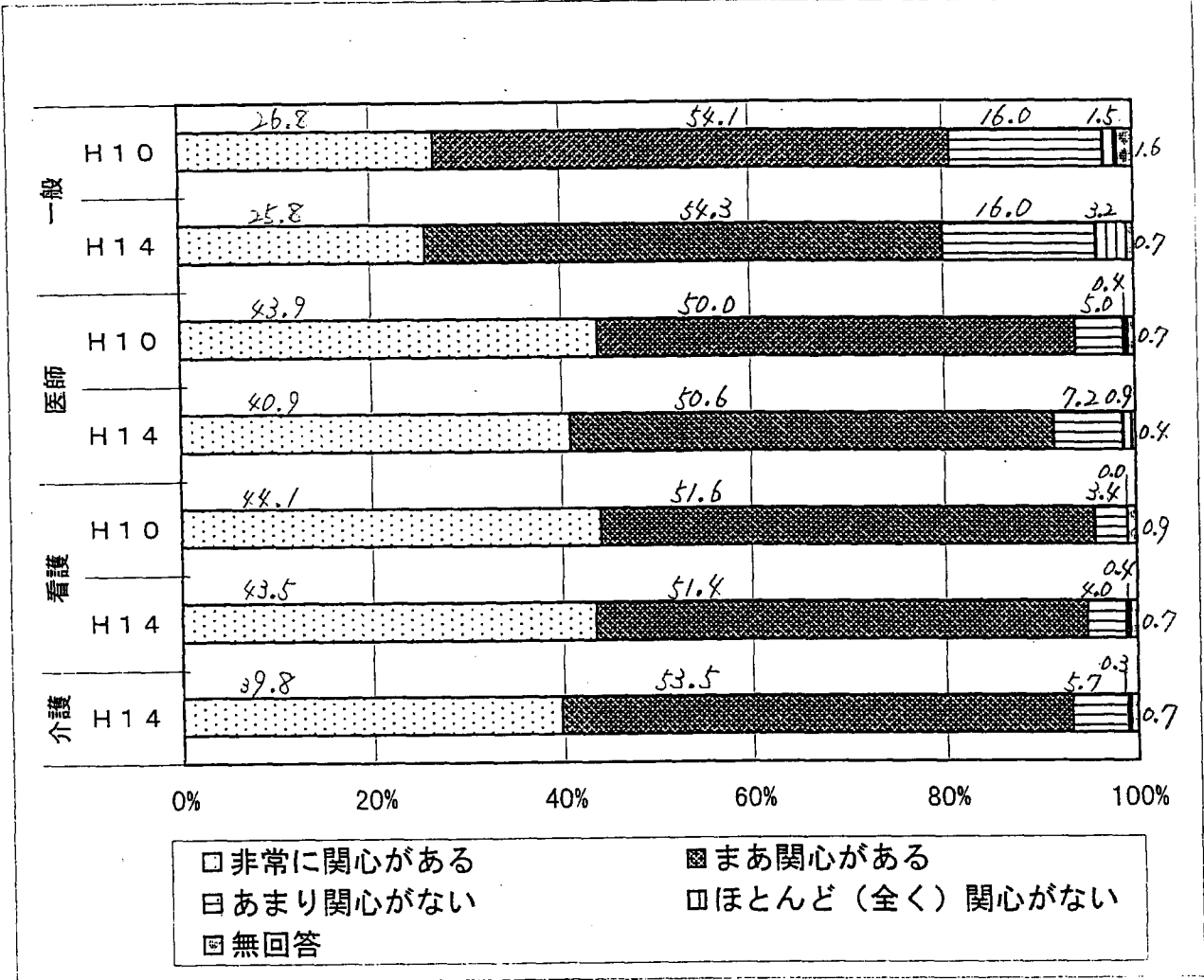


<終末期医療に対する関心>

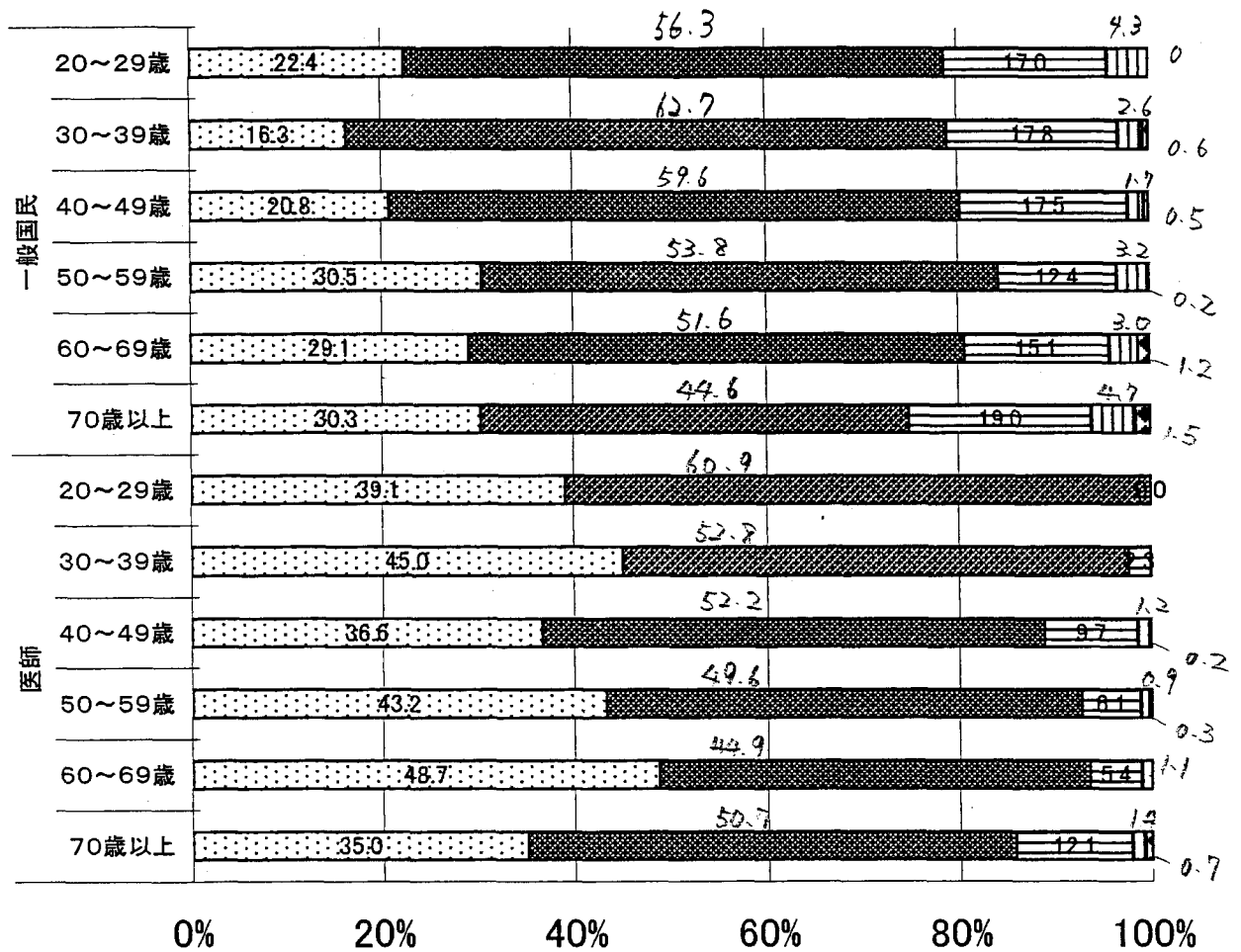
一般国民、医師、看護職員、介護施設職員の大多数は終末期医療について「非常に興味がある」「まあ興味がある」と回答している（般 80% (81%) ,医 92% (94%) ,看 95% (96%) ,介 93%）。

注) 一般国民、医師、看護師、介護施設職員の回答について、それぞれ般、医、看、介と省略している。また、()内は前回調査における結果である。以下同じ。

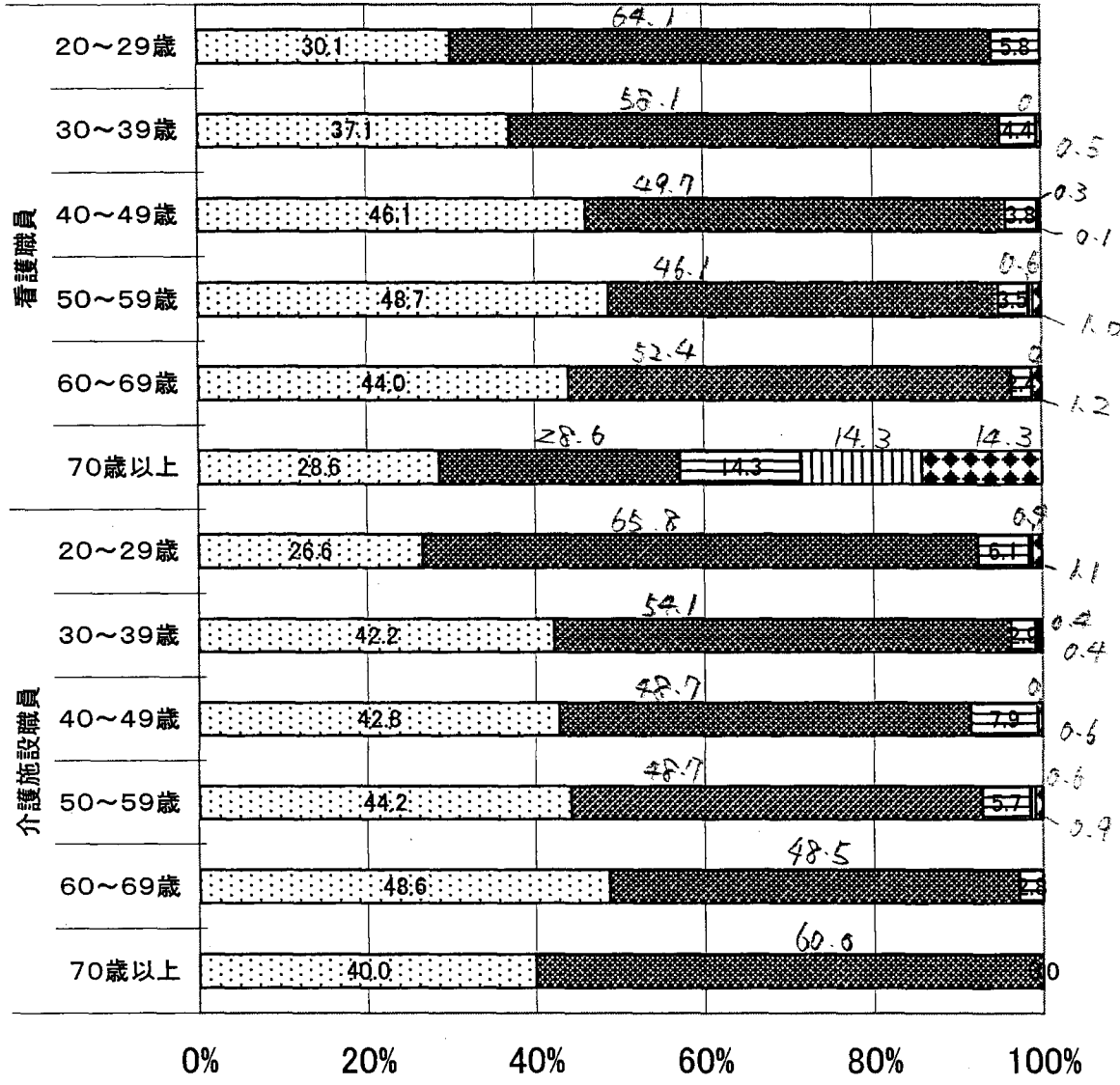
問 最近、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、あなたはこれらに関心がありますか。（○は1つ）
 問の番号 一般1 医師1 看護1 介護1



終末期医療に対する関心は、年齢によらず、どの年齢層においても関心が高い。(般 75~84%、
医 86~100%、看 57~97%、介 92~100%)



非常に興味がある まあ興味がある
 あまり興味がない ほとんど(全く)興味がない
 無回答

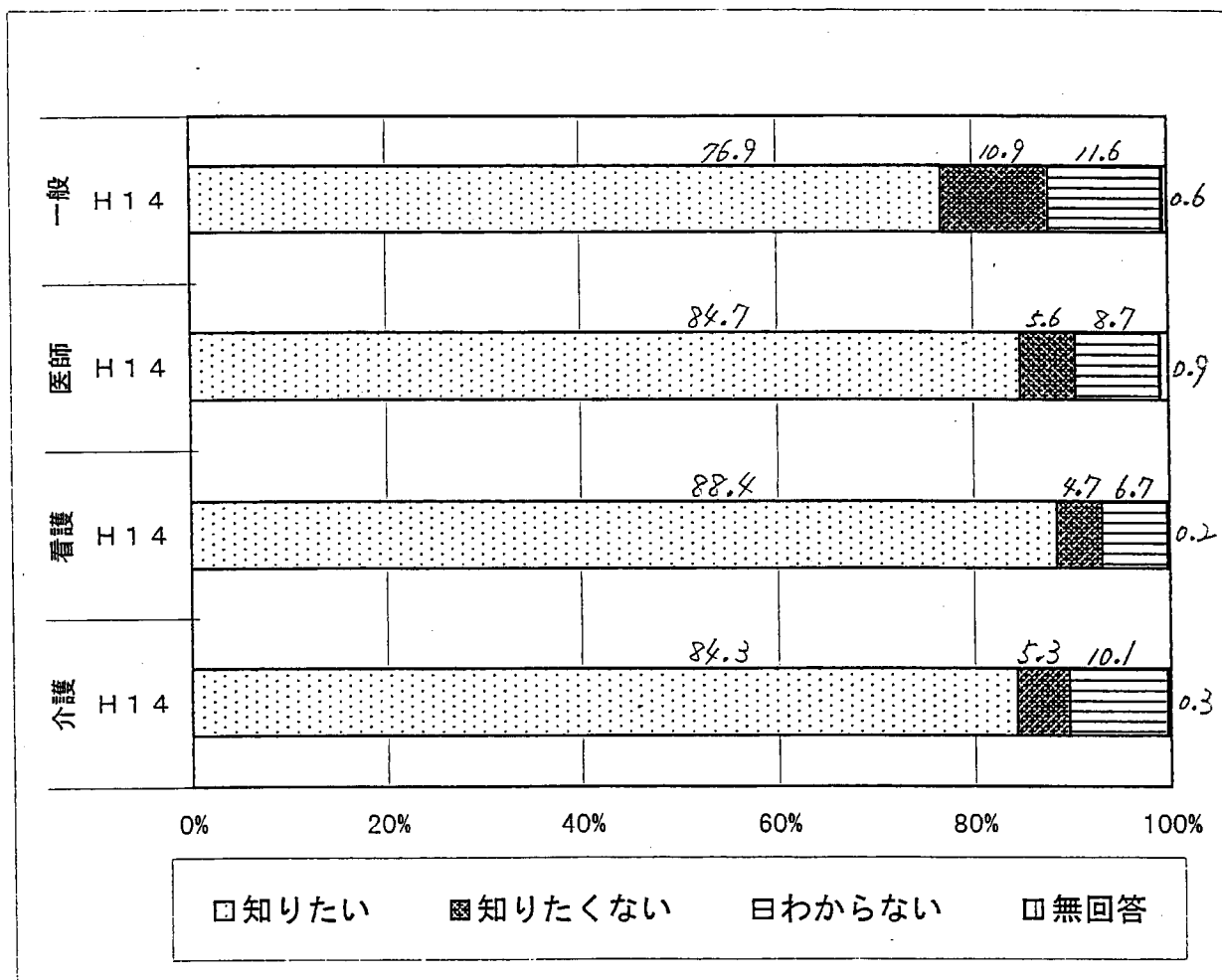


非常に興味がある まあ興味がある
 あまり興味がない ほとんど(全く)興味がない
 無回答

<病名や病気の見通しについての説明>

一般国民、医師、看護職員、介護施設職員の多くが自分の病名や病気の見通し（治療期間、余命）について知りたいと思っている（般 77%（73%）、医 85%、看 88%、介 84%）。

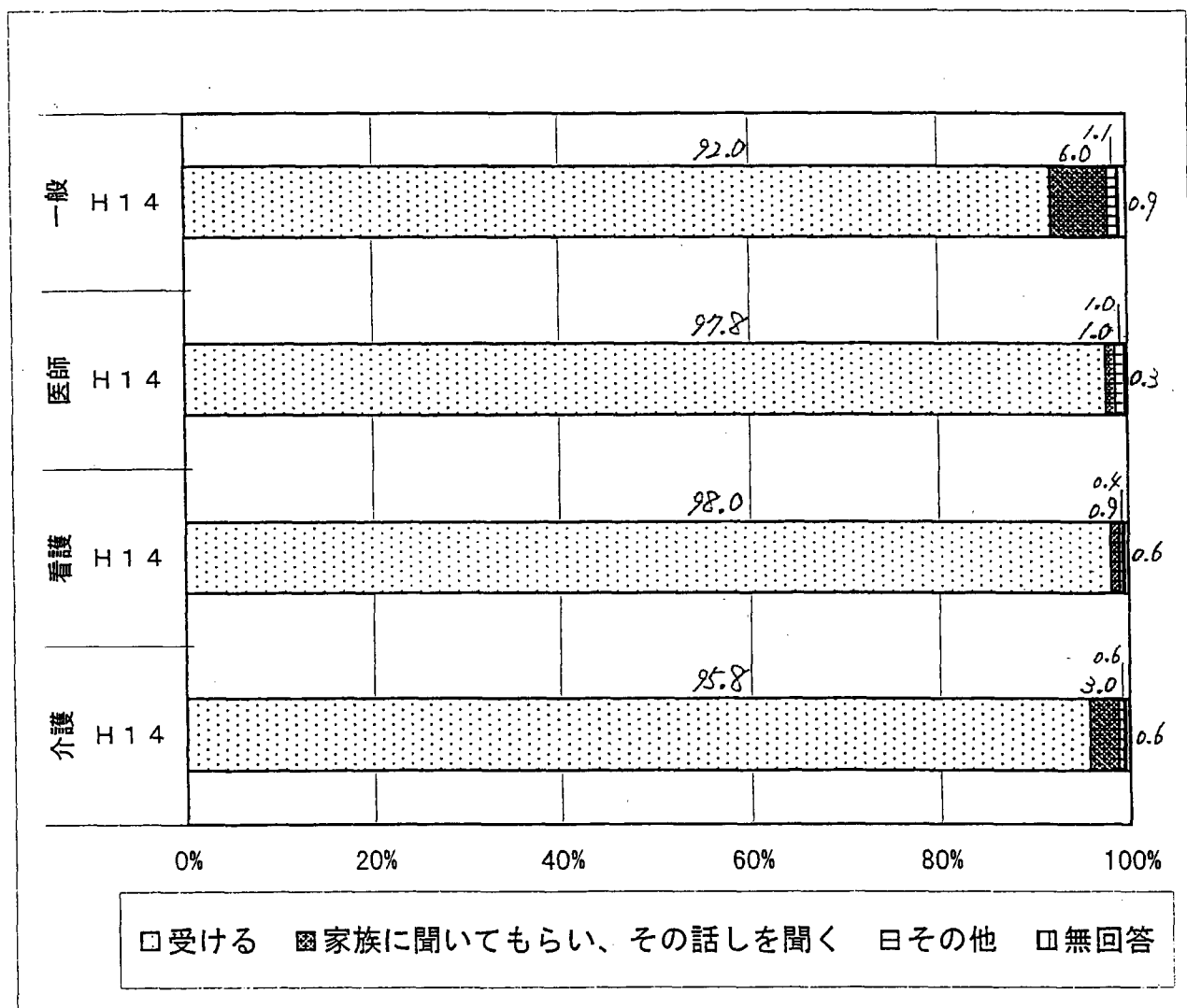
問 あなたご自身が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し（治療期間、余命）について知りたいとお考えになりますか。（○は1つ）
問の番号 一般 2 医師 2 看護 2 介護 2



自分が治る見込みのない病気に罹患した場合に、自分の病名や病気の見通しについて知りたいと回答した者の多くは、担当医から直接説明を受けたいと思っている(般 92%(90%)、医 98%、看 98%、介 96%)。一方で、過半数の看護職員は担当している患者に対して、まず、「患者本人に説明する」「患者本人の状況を見て患者に説明するかどうか判断する」と回答しているが(医 47% (39%)、看 76% (67%)、介 30%)、医師、介護施設職員の過半数は、まず、「家族に説明する」と回答している(医 51% (59%)、看 21% (29%)、介 68%)。

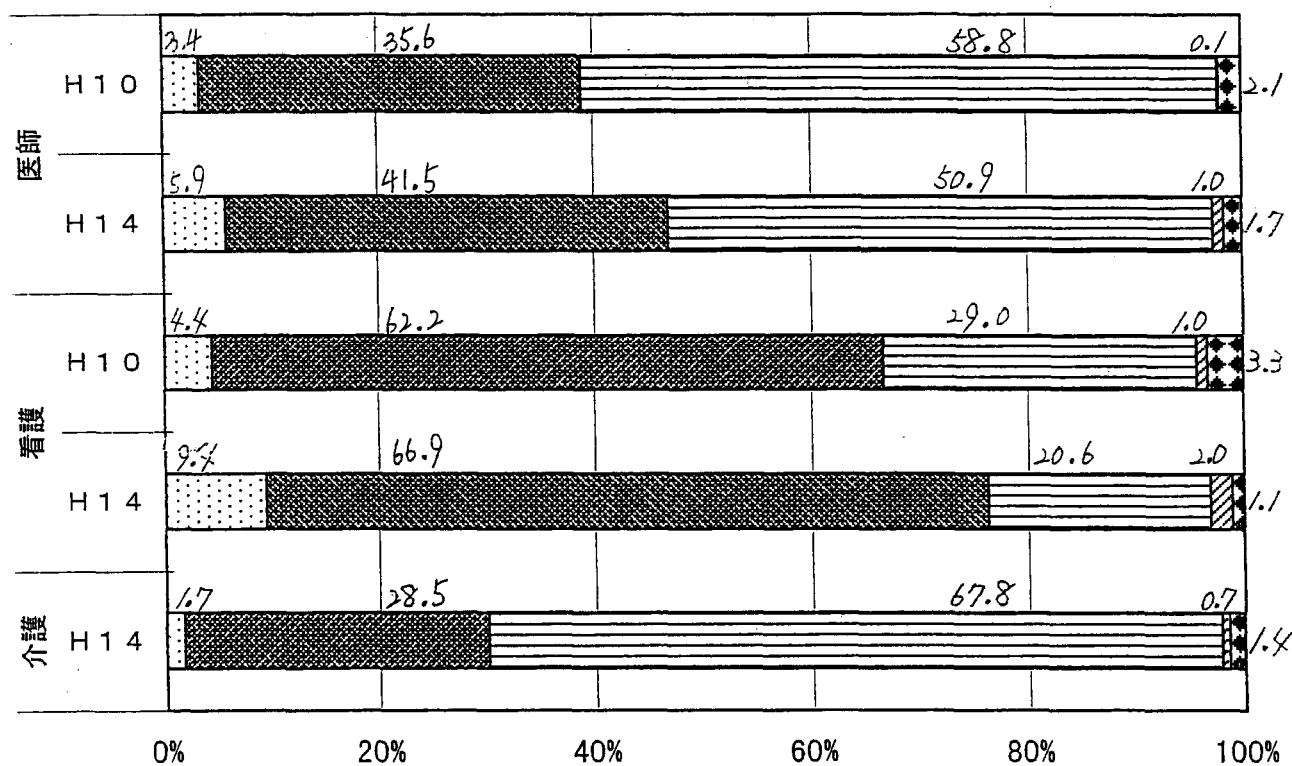
(自分が治る見込みのない病気に罹患した場合、病名や病気の見通しについて知りたいと回答した者に質問)

問 病名や病気の見通しについて直接担当医師から説明を受けますか。(○は1つ)
問の番号 一般2補問 医師2-1 看護2-1 介護2-1



問 あなたの担当している患者・入所者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し（治療期間、余命）について、まずどなたに説明しますか。
 (○は1つ)

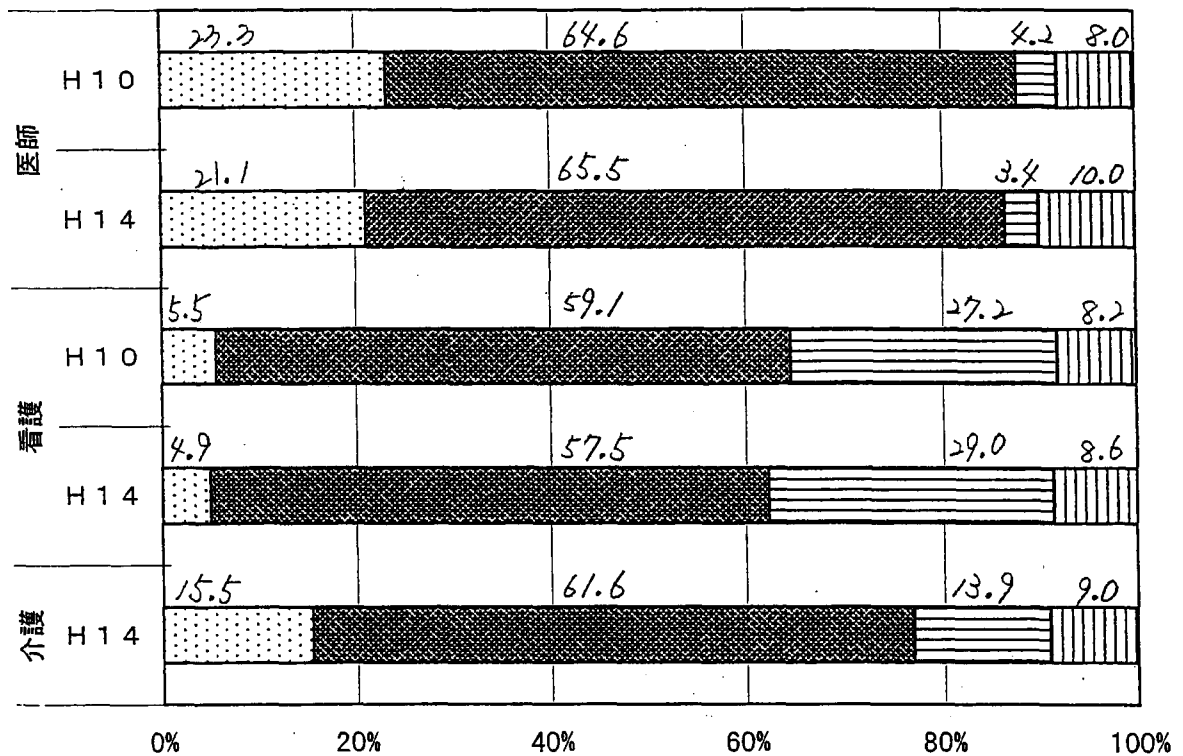
問の番号 医師4 看護4 介護4



- 患者本人に説明する
- 患者本人の状況を見て患者に説明するかどうか判断する
- ▨ 家族に説明する
- ▩ 患者本人、家族ともに説明しない方がよい
- ⬜ わからない・無回答

医師、看護師、介護施設職員の多くは、病名や病気の見通しについて、患者、入所者や家族が納得のいく説明が「できている」「ある程度できている」と回答している(医 87% (88%)、看 62% (65%)、介 77%)。

問 あなたは病名や病気の見通しについて、患者・入所者や家族が納得のいく説明ができていると考えていますか。(○は1つ) 問の番号 医師5 看護5 介護5



□できている ■ある程度できている ▨できていない ▩わからない・無回答

<治療方針の決定>

担当している患者、入所者の治療方針の決定をするに当たっては、まず、「患者本人の意見を聞く」(医 14%(9%)、看 17%(16%)、介 6%)よりも、「患者本人の状況を見て誰にするかを判断する」と回答する者(医 57% (55%)、看 71% (71 %)、介 57%)が多く、「患者本人の意見を聞く」「患者本人の状況を見て誰にするかを判断する」をあわせると、多くの者が患者本人の意見を中心としている (医 71% (64%)、看 88% (87%)、介 63%)。

問 あなたの担当している患者・入所者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その治療方針を決定するに当たり、まずどなたの意見を聞かれますか。(○は1つ)

問の番号 医師 6 看護 6 介護 6

